



集合研修型の元気塾「マスターコース」における団体間の交流の様子

まちづくりパートナーは、地域が抱える課題の本質を見極め、直接助言するほか、先行事例を紹介。同時に、ワークショップなどの実践的なサポートを通じ、観光資源や特産品など地域に根づく魅力を発掘する手助けも行う。地域住民と協働するパートナーとして、まちづくりを同じ目線から考え、支援することが役割だ。これらパートナーの支援を受けた団体は、目の手で地域の活性化につなげていく。また、集合研修型の元気塾「マスターコース」も行う。これまでに支援した団体が一堂に会し、まちづくりパートナーと話や他団体の活動報告から今後の活動へのヒントを得る場。複数の団体が交流を通じて「対付き」を得ると同時に、新たなネットワークの形成に役立っている。

元気塾は2006年度の開始からこれまで計32団体の魅力的なまちづくりを支援してきた。これらの活動内容は、東北電力のホームページに掲載しているほか、年度ごとに発行する活動事例集などで紹介している。

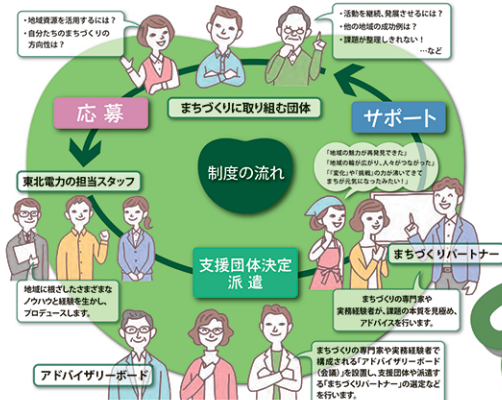
地域の成長・発展に「寄り添う」

制度の概要・特長

東北電力が展開する「まちづくり元気塾」は、東北6県と新潟県で地域活性化に向けて、地域が直面する課題の解決に取り組み団体をサポートする制度。個性や活力にあふれるまちづくりの実現というゴールに向け、専門家の派遣を通じて、地域住民の活動をサポートするもの。同社のコポレートスロガン「より、そう、ちから」のもと、地域の成長・発展に「寄り添う」取り組みとして展開している。

まちづくりの専門家や実務経験者で構成される「アドバイザーボード」で支援団体を決定。地域のニーズと課題に合った専門家「まちづくりパートナー」を派遣するとともに、アドバイザーボードのメンバーは「チーパートナー」としてまちづくりに支援する。

まちづくり元気塾[®]とは？



年間スケジュール【予定】

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	翌3月
9月1日～10月31日 募集期間			アドバイザーボードによる 支援団体の選定			支援団体決定 通知		まちづくりパートナー派遣 (3回)